



東予港西条地区防波堤整備事業(産業関連事業)

世界に誇る日本の造船業を支える

現在 now

将来 future

インフラ

東予港西条地区における台風等による高潮や荒天時の波浪による被害状況



【公共岸壁】



【専用岸壁】

防波堤整備による背後地の
利便性・安全性向上

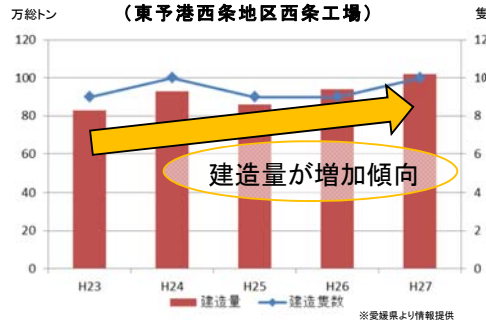
泊地増深による
大型建造船への対応



平成28年度 事業完了予定

地域

今治造船(株)の建造量の推移
(東予港西条地区西条工場)



建造量が増加傾向

〈立地企業の声〉

造船業の国際競争は一層激しさを増しており、競争力確保のために大型船の建造を計画している。

主な建造船(船の種類)イメージ

船の種類	建造に必要な水深	船の長さ
貨物船 (18万DWT級)	5.5m	約290m
タンカー船 (31万DWT級)	7.5m	約330m
天然ガス運搬船 (18万m級)	7.5m	約300m

現在の泊地水深「5.5m」から「7.5m」に深くすることで、さらに大きな船舶の建造が可能となる



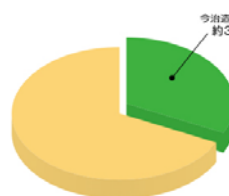
より大型の船舶が建造可能

台風被害の軽減および岸壁前面の波を穏やかにするために、愛媛県が産業関連事業にて防波堤等を整備中

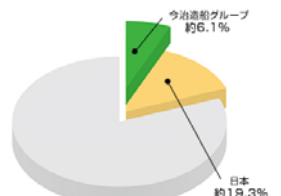
当該施設の整備において、一部、西条市の事業(岸壁、泊地整備)と併せて施設を整備することにより、造船業の振興、地域雇用の増大、地域経済の活性化等に寄与

高い技術力を持つ日本の造船業のシェアは、中国、韓国に次ぐ世界第3位を誇っており、中でも今治造船(株)は建造量日本一(シェア31.4%)

日本の建造量における今治造船のシェア(2015年)



世界の建造量における今治造船のシェア(2015年)



※財団法人 フェアプレイ(船口) 調べ